

退教互会報

一般財団法人 岩手県退職教職員互助会

☎020-0022 盛岡市大通一丁目1-16 岩手教育会館4階 ☎019(623)3300(代) FAX 019(623)3349
ホームページ: <https://iwatetai.jp/> E-mail: iwatetaikyogo@kind.ocn.ne.jp 発行・編集責任者 川村 元



< 尾瀬・山小屋宿泊施設「原の小屋」にて >



< 尾瀬の木道を進む参加者たち >

目次

高額療養費の自己負担限度額引き上げへ……………	2
医療保険制度改革が退教互へ与える影響／ 70歳以上の皆様へ……………	3
2026年度地区連絡会……………	4
地区活動報告（遠野地区）……………	5
公益文化事業／地区会長事務局長一覧……………	6
おくやみ欄……………	7
満100歳を迎えられた方々／囲碁大会／……………	8
陳情署名のお願い／あとがき……………	

思い出の“フォト”

●退教互企画旅行●

「大自然を歩く！遙かな尾瀬トレッキング3日間」
(2026年7月22日～24日 18名参加)

尾瀬では天候に恵まれ皆さん楽しくも頑張って歩いた3日間だったとのこと。(歩行は4万歩超！)

2つの班に分かれ、それぞれの尾瀬ガイドさんの話を聞きながらのトレッキングでたくさんの花々や雄大な山々の景観を楽しみ、さらに体力のある参加者は名瀑「三条の滝コース」まで足を延ばしたりと大自然を満喫した行程だったようです。

2026年8月・2027年8月段階的に 高額療養費の自己負担限度額が引き上げへ……

高額療養費とは、1ヶ月の医療費が高額になった場合に、自己負担額が所得に応じて一定の上限までに抑えられる制度です。2026年8月診療分から全ての所得区分で上限額が引き上げられました。

引き上げ幅は約4～7%（入院等）の範囲で、低所得区分ほど上昇率が小さく、高所得区分ほど大きくなります。なお、70歳以上の外来限度額は22～38%の引き上げとなります。

2026年8月からの高額療養費改定について下記の自己負担限度額の区分表をご覧ください。

◎69歳以下の限度額

(2026年8月1日～2027年7月)

所得区分			月単位の上限額(円)	多数回該当 *2	年単位の 上限額(円)
年収換算	健 保 (標準報酬月額)	国 保 (旧ただし書き所得)*1			
約1,160万円～	83万円以上	901万円超	$270,300 + (\text{医療費} - 901,000) \times 1\%$	140,100	1,680,000
約770～1,160万円	53～79万円	600～901万円	$179,100 + (\text{医療費} - 597,000) \times 1\%$	93,000	1,110,000
約370～770万円	28～50万円	210～600万円	$85,800 + (\text{医療費} - 286,000) \times 1\%$	44,400	530,000
～約370万円	26万円以下	210万円以下	61,500		530,000*3
住民税非課税			36,900	24,600	290,000

◎70歳以上の限度額

(2026年8月1日～2027年7月)

所得区分			月単位の上限額(円)		多数回該当 *2	年単位の 上限額(円)
年収換算	健 保 (標準報酬月額)	国保・後期 (課税所得)				
約1,160万円～	83万円以上	690万円以上	$270,300 + (\text{医療費} - 901,000) \times 1\%$		140,100	1,680,000
約770～1,160万円	53～79万円	380万円以上	$179,100 + (\text{医療費} - 597,000) \times 1\%$		93,000	1,110,000
約370～770万円	28～50万円	145万円以上	$85,800 + (\text{医療費} - 286,000) \times 1\%$		44,400	530,000
～約370万円	26万円以下*4	145万円未満*4・5	22,000 (年間上限216,000)	61,500		530,000*6
住民税非課税			11,000 (年間上限96,000)	25,700	24,600	290,000
住民税非課税（所得が一定以下）			8,000	15,700	—	180,000

*1 保険料計算で使われてきた用語で、一定のルールで算出し直した所得金額

*2 直近12か月の間に、高額療養費の支給を受けた月が3回以上あると、4回目以降に適用される限度額。

*3 「年収換算 約200万円」（健保：15万円以下、国保：86万円未満）区分に該当することが確認できた方は、年間上限41万円を適用し、令和9年8月以降に償還払い。

*4 収入の合計額が520万円未満（1人世帯の場合は383万円未満）の場合も含む。

*5 旧ただし書き所得の合計額が210万円以下の場合も含む。

*6 「年収換算 約200万円」（健保：15万円以下、国保：28万円未満）区分に該当することが確認できた方は、年間上限41万円を適用し、令和9年8月以降に償還払い。

2027年8月診療分からは、住民税非課税世帯を除く所得区分が細分化される方針です。長期療養者（多数回該当）や低所得者への配慮も見られるものの医療費の負担が増えるのは事実です。

昨年度の医療機関への支払いデータを基に算出したところ、年間で1,500万円～2,000万円ほど医療費負担増が見込まれる予定となっております。

医療保険制度改革が退教互に与える影響

直近の主な医療保険制度の大きな見直しについて退教互に与える影響を整理しましたので下記をご参照ください。

2022年10月 後期高齢者医療の「2割負担」開始と外来負担増を月3,000円までに抑える配慮措置開始

- 厚生労働省の推計によれば加入者全体で約20%との事ですが、退教互の後期高齢者会員の約60%が1割負担から2割負担となり、これにより後期高齢加入者は前年対比で1億2,500万円負担増。

2025年10月 外来負担増を抑える配慮措置終了

- 配慮措置終了に伴い負担が約3,000万円増と予想しましたが、2026年8月時点では年間1,000～1,500万円の負担増で推移。

2026年6月 診療報酬改定（2年に1回の偶数年度ごとに改定）

- 物価高騰・賃金上昇への対応するための改定となっており、医療従事者の処遇改善や医療DXの推進で2040年を見据えた医療提供体制の再編など、幅広い見直しが行われます。今回の診療報酬改定については「3.09%」（2年度平均）過去30年で最高水準の大幅なプラス改正。

2026年8月 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げ

- 自己負担限度額の引き上げに伴い年間1,500万円～2,000万円ほど負担増と予想。これにより退教互の高額療養費収入が大幅に減る見込み。

※このような状況の中で長期的な財政推移を予測し、現在の「相互扶助制度」を安定化、維持発展させていくには、給付額・自己負担額等の給付の在り方について、今後さらに組織財政検討委員会等で議論を進めていくことが必要不可欠となります。

70歳以上の皆様へ

8月から資格情報のお知らせ等の負担割合が変わっていませんか？



負担割合が変わった方は、新しい資格情報のお知らせ等のコピーをご送付ください！

岩手県国保（市町村国保）及び後期高齢者医療にご加入の方々は、毎年8月に健康保険の更新が行われます。新しい**資格情報のお知らせ等**に記載されている「負担割合」が、更新前と変わらないか、今一度ご確認をお願いします。

「負担割合」が更新前と変わった方は、退教互へのお届け（コピーの提出）が必要です。まだ退教互へコピーを送っていない方は、早急にご送付をお願いします。

(FAX 送信可 019-623-3349)

70～84歳の方には、資格情報のお知らせ、または、資格確認書が交付されます！

マイナンバーカードに保険証を紐づけしている方には「**資格情報のお知らせ**」が交付され、紐づけしていない方には「**資格確認書**」が交付されます。負担割合が変わった際は、いずれかのコピーを退教互事務局までお届けください。

※85歳以上の方には、マイナ保険証紐づけの有無に関わらず、**資格確認書**が交付されます。

2026年度 地区連絡会

本年度の地区連絡会は6月8日の江刺地区をはじめとして7月2日の紫波地区まで、全18地区、総勢1,049名の会員の皆様にご出席いただき開催しました。

連絡会では、退教互の事業決算報告及び運営方針、受診要領などを中心に説明しています。ご欠席の皆様にも地区連絡会資料をお送りしておりますので、是非お目通しをお願いします。

ご出席の皆様からは、多数のご質問やご意見をいただきました。下記の通り一部ご紹介します。



地区連絡会でのご質問・ご意見の中から

Q

現職会員を増やすために、どのような取り組みをしているのでしょうか。私たち退職会員も協力したいと思っています。

A

未加入者には随時加入を個別に進め、学習会等で制度説明と加入促進を行っています。ぜひ、退教互の良さを未加入者へ届けたいので退職会員の皆さんの“声”をお寄せください。

Q

後期高齢医療2割負担ができ、退教互の医療費の負担は増える一方ではないのか。実際のところ大丈夫なのでしょうか？

A

2022年以降医療費負担は増加傾向にあり財政面にも影響が出てきています。今後、制度維持のため給付額や自己負担額等、給付の在り方を見直す時期にきています。

☁

実際に自分が入院して初めて退教互の制度のありがたみを感じました。これから退職する方にもっと伝えてほしい！

☁

制度改正の際は会員へ丁寧な説明をしてください。

☁

今回の総会・連絡会は事務局長さんの声掛けにより参加したいと思いました。皆さんとお話しもできて参加して良かったです。

お願い

会員の皆様からのご意見は退教互の今後の維持、さらなる発展のために生かして参ります。そこで、

～会員からのおたより～ として皆様の声をお聞かせください。



会報掲載や現職会員拡大の取り組みとして退職会員の皆様からのお便り“声”をお待ちしております。退職会員になって感じた事、体験談、日頃の気になったこと、会員のみなさんと共有したいことなど。退教互事務局までお寄せいただけますと幸いです。(退教互会報表紙に連絡先を記載しています)

遠野地区活動報告

本会の主な行事は「陶芸教室」「グラウンドゴルフを楽しむ会」に加え「遠野遺産見て歩きの会」「退教互学習会」です。役員が各々分担して企画・運営し、事前打合せや準備等、実に細やかな配慮をして取り組んでいます。

今回は「遠野遺産見て歩きの会」「退教互学習会」の2つに絞って報告します。

「遠野遺産見て歩きの会」は21年度から始めて、途中コロナでの休止を挟んで25年度が4年目となりました。「健康維持と地元の文化遺産の学習」、身体と頭脳、両方の若返りを狙った試みは毎年好評です。その昔慈覚太師が遠野に居て彫った七体の観音像・「遠野七観音巡り」をテーマに、毎年9月下旬、4旧町村に分けて順巡りし、メインの観音様に加え、近隣の「歴史遺産」も見学するコースを設定しています。高額になった貸切バスを避け、借り上げた車4～6台に分乗して移動し、駐車場からは互いに支えあって山道を歩きます。

「熊鈴・笛・爆竹・ハンドマイク・杖・車椅子・懐中電灯・雨傘・他」、万全の準備を整えて出発し、現地では管理人の配慮で観音堂を開いて観音様の開帳までして頂いています。「灯台下暗し」の地元会員にとっては滅多に見ることができない貴重な遺産の見学と、加えてそれにまつわる歴史講話はとても良い学習の機会になっています。七観音巡りの最終年となる昨年は「宮守観音と近隣の遠野遺産」を見学しました。慈覚太師が彫った緊迫の7体目の十一面千手観音は、あまねく衆生を救うために千の手と目を得るものとされ、感慨を深くしました。今回は上宮守に残る「西風石碑群・飢饉の碑」へも訪れました。南部領は度々「飢饉」に見舞われましたが、供養塔に刻まれた「有無両縁餓死亡三界萬霊等」の意味を学び、改めて過酷な時代を生き残った先祖が在っ



宮守観音にて



上宮守西風石碑群・飢饉の碑

て今の自分たちが居ることをしみじみ実感しました。幸いなことに、当地区には郷土史研究家の会員（現副会長、大橋進さん）がおり、毎回詳しく史実をまとめた資料の提供と実妙な解説は、とても勉強になって、改めて郷土の遺産の価値を再認識する機会になっています。昼食後に解散となりますが、お弁当と沢山の差し入れを食べながら参加者の感想を交換する等、昼食時は毎回楽しく賑やかなひと時です。

26年度からは新たに「遠野史跡見て歩きの会」がスタートします。今年は「デンドラ野」にまつわる地を巡る計画が進行中です。

「退教互学習会」は毎年10月下旬に「学生協退職者の集い」と併せて開催しています。毎回会員のニーズに沿って様々なテーマで実施していますが、高齢者を取り巻く沢山の課題の中から、昨年度は「どうせ避けられないのだから、楽しくやろう終活」をテーマに、講師には全国各地で講演実績のある「ジブラルタ生命の専門職員」を招聘し、終活の中で特に大事な「断捨離」「相続」「介護」について、巧みな話術に加えプロジェクターを使用して講和いただきました。大変多岐に亘る内容で、講話の後には質問も相次ぎ、参加者の関心の高さが伺われました。配布された冊子「みんなの相続」は大変に有効なもので、参加できなかった会員にも希望者へ配付できるようにしました。



学習会風景

学生協と共催した「退職者の集い」では、生協中央南事業所と本部より職員2人にお出で頂いて、会として会員に推奨している「個人宅配」が大変便利であることの宣伝と「便利な食品」の試食品の提供も好評でした。



学生協退職者の集い風景

特に学生協が取り扱っている「生前財産整理、墓じまい」等についての説明が関心を集めました。

昼食で配付した特注弁当は「障害者福祉サービス事業所（結和）」で作っており、この事業所への支援も兼ねて毎年発注しています。弁当の内容も好評なので、今後も発注し支援していきたいです。

最後に、現職岩教組の支部再編後も守り続けている「遠野教育児童会館」は退職者も維持管理を支援しています。現職との対話と連携も大切にしています。

2026公益文化事業

第55回岩手教育芸術祭美術展

期間 11月14日(土)～17日(火) 9:00～17:00 (最終日は15:00)

場所 岩手教育会館 特設会場 (盛岡市大通一丁目1-16・TEL 019-623-3301)

……美術展作品募集要項……

- 絵 画 (日本画・洋画・版画・水墨画) 50号以内 額装 (1人1点)
- デ ザ イ ン 全紙以内 パネル (1人1点)
- 彫刻・立体 150cm×100cm×100cm以内 重さ50kg以内 (1人1点)
- 工 芸 150cm×130cm×50cm以内 重さ50kg以内 (1人1点)
- 現代美術 120cm×120cm×50cm以内 重さ20kg以内 (1人1点)
- 書道一部 本紙242cm×61cm以内 (縦作品)
本紙180cm×70cm以内 (縦・横自由)
- 二 部 本紙136cm×35cm以内 (縦・横自由)
一部、二部とも額装または軸装。ただし軸装の場合、縦の長さ240cm以内とする。
二部は半切以下の半紙や色紙等の小品も可とする。(一部、二部それぞれ1人1点まで)
- 写 真 四ツ切以上大全紙
(額装またはパネル68cm×57.5cm) まで。
組写真不可。デジタル作品は加工不可とする。(1人2点以内)

☆いずれも未発表の作品に限る。規格外の作品は審査対象外とする。

☆出品料 無料 ☆応募〆切 10月30日(金)

☆詳細は、下記事務局へ作品募集要項を請求のこと。

岩手教育芸術祭事務局 ☎019-623-3301へ

2026年度各地区会長・事務局長一覧

地区名	会 長 名	事務局長名	地区名	会 長 名	事務局長名
盛 岡	佐 藤 均	高 野 泉	気 仙	三 浦 昌 弘	田 村 敏 彦
岩 手	山 本 顯	高 橋 道 明	釜 石	河 東 眞 澄	菅 井 綾 人
紫 波	山 本 好 章	千 葉 功 一	遠 野	菊 池 健 次	湊 惠 幸
稗 貫	藤 田 俊 男	菊 池 善 明	宮 古	大 洞 晴 洋	坂 下 正 典
和 賀	浅 野 博 道	千 葉 正	下 北	佐々木 保 昭	菊 地 ミツ子
胆 沢	高 橋 俊 一	及 川 茂 行	九 戸	大 井 正 信	佐々木 裕 毅
江 刺	佐 藤 良	及 川 智	二 戸	上 森 一 男	久 慈 喜 一
西磐井	加 藤 正 好	蜂 谷 和 久	東 京	豊 巻 浩 也	白 戸 緑
東磐井	及 川 清 喜	小野寺 廣	仙 台	大 山 清 吉	小 川 総一郎

※今年度の評議員・理事・監事の一覧については、地区連絡会資料(退職会員向け)、退教互の現況(現職会員向け)に掲載しております。

■おくやみ申し上げます<敬称略>

会報103号掲載以降の方々です。退教互から香奠を給付し、ご冥福をお祈り致しました。

【盛岡地区】			
佐藤 マユミ	2025年 7月18日	93歳	
佐藤 佳子	9月28日	82歳	
瀬山 英一	11月19日	88歳	
吉田 正巳	12月11日	94歳	
瀬川 奉道	2026年 2月 5日	82歳	
中津山すみ子	2月26日	100歳	
千葉 貞子	2月27日	85歳	
小菅 静江	3月 7日	98歳	
千葉 常允	3月 7日	86歳	
晴山 洋子	3月13日	95歳	
武田 千代	3月23日	97歳	
金子 貞子	3月29日	89歳	
宮村 彬	4月 4日	82歳	
藤原 淑子	4月 6日	89歳	
大角 喜美	4月11日	96歳	
中村 仁子	4月11日	82歳	
佐々木チエ	4月19日	94歳	
谷澤 次郎	5月25日	78歳	
工藤 良裕	6月 1日	69歳	
女鹿昭八郎	6月 3日	92歳	
吉田 敏夫	6月 7日	80歳	
吉田 慶子	6月15日	97歳	
小川 桂史	6月24日	92歳	
吉川 憲子	6月25日	93歳	

【岩手地区】			
志田 勝夫	2025年12月25日	88歳	
小原 晃	(岩手県立葛巻高等学校)		
	2026年 2月 2日	57歳	
伊藤 晃	2月11日	87歳	
阿部 静子	4月10日	93歳	
阿部 箴	5月16日	87歳	
柳谷 司治	5月27日	82歳	

【紫波地区】			
佐藤 恵子	2026年 2月20日	94歳	
吉見 弘子	3月 2日	95歳	
渋川乃里子	3月19日	57歳	
吉田 敦	4月11日	62歳	
福田 葉	5月 9日	98歳	

【稗貫地区】			
佐藤 幸子	2026年 1月31日	94歳	
菊池 伸	2月 4日	59歳	
梅木 栄夫	2月 6日	92歳	
大野 香	2月26日	96歳	
菊池 利和	3月 3日	83歳	
高橋 麗子	3月 4日	90歳	
小野 勝弘	5月12日	93歳	
佐藤紘一郎	5月24日	84歳	
佐々木榮子	6月12日	97歳	
晴山 文子	6月15日	87歳	

【和賀地区】			
加藤 徳	2026年 2月 8日	83歳	
武田 圭子	4月16日	97歳	
高橋 喜昭	4月18日	84歳	
佐藤 一就	4月21日	95歳	
高橋 啓子	4月29日	94歳	
高橋 誠恒	5月15日	82歳	
及川 徹郎	5月19日	83歳	
工藤 静子	5月24日	98歳	
野村 亮子	5月27日	87歳	
多田 英子	5月28日	93歳	
照井 健	5月29日	82歳	

【胆沢地区】			
若槻 昭児	2025年11月18日	92歳	
千葉 正夫	12月28日	97歳	
及川都喜男	2026年 1月19日	90歳	
中野 富弥	2月 9日	100歳	
小原 律子	2月16日	93歳	
末永 良地	3月 6日	94歳	
佐藤 義正	3月 7日	83歳	
菊地 信	3月25日	92歳	
梁川 京子	4月 5日	101歳	
菅原 幸子	5月13日	103歳	
佐々木 清	5月22日	63歳	
高橋 里男	5月26日	89歳	
小野 志郎	6月 5日	80歳	
佐々木義雄	6月11日	97歳	
菊地 涉	6月20日	78歳	
小野寺教子	7月 2日	94歳	

【江刺地区】			
橋田 キミ	2026年 4月 4日	97歳	
菊地 喜美男	4月27日	84歳	

【西磐井地区】			
金野 戴子	2026年 1月26日	81歳	
遠山 勝弘	2月15日	83歳	
那須 盛隆	3月20日	89歳	
目黒 二男	3月25日	90歳	
千葉 智	3月27日	81歳	
佐藤 長善	4月 8日	80歳	
及川 節子	4月16日	102歳	
似内 彰	4月28日	65歳	
小野寺勝明	5月 9日	93歳	
菊地清四郎	5月19日	87歳	
阿部 悦子	5月21日	94歳	
泉 興輔	5月27日	84歳	
細川 勝郎	5月27日	82歳	
古内 三郎	5月31日	83歳	
金野 俊彦	6月17日	94歳	

【東磐井地区】			
菅原 勇一	2026年 2月28日	85歳	

【東磐井地区】			
佐藤 満	2026年 4月11日	72歳	
佐藤 良	5月 1日	80歳	
佐藤 徹	5月10日	82歳	
鈴木 啓治	6月 9日	89歳	

【気仙地区】			
齊藤 篤志	2026年 3月 2日	85歳	
佐藤 京子	3月13日	75歳	
吉田 廣一	4月 6日	97歳	
細川 悦子	4月14日	100歳	

【釜石地区】			
川原 輝也	2026年 6月27日	94歳	

【遠野地区】			
佐々木通子	2026年 1月22日	67歳	
菊池 武一	3月27日	93歳	
上澤 正男	6月18日	83歳	

【宮古地区】			
佐藤 トミ	2025年 6月20日	96歳	
川戸 邦夫	2026年 2月12日	86歳	
金澤 睦男	3月 3日	91歳	
田畑 輝彦	3月24日	92歳	
崎山 理平	6月28日	97歳	

【二戸地区】			
新田 弘道	2026年 1月20日	84歳	
金谷 光悦	2月21日	72歳	
平 京子	3月17日	91歳	
常前 博司	3月31日	71歳	
堀内 泰治	4月 6日	88歳	
越水 光子	5月21日	94歳	
寺田 俊子	6月 9日	92歳	

【東京地区】			
小林 實	2025年12月17日	92歳	
千葉サミ子	2026年 1月 8日	97歳	
平井祐美子	1月29日	62歳	
菊地 潔	3月 8日	91歳	

【仙台地区】			
米和 一子	2026年 1月26日	88歳	
菅原 裕子	2月24日	92歳	
星 郁子	4月26日	105歳	
安部千代子	5月27日	96歳	
中島 宏	6月16日	92歳	

【青森県青森市】			
佐々木唯雄	2026年 5月 6日	92歳	

【青森県十和田市】			
中川 勝一	2025年 9月27日	80歳	

【大分県別府市】			
田村 エキ	2026年 3月16日	95歳	



満100歳!!

おめでとうございます。

第103号掲載以降、次の方々も100歳のお誕生日を迎えられましたので、ご紹介いたします。



菅沼 ヒデさん
(稗貫地区)

大正15年5月26日生
昭和57年3月
石鳥谷小学校退職

戦前・戦後と100年生きぬいて来ました。苦難の道ではありましたが、多数の皆様方に支えられ、無事頂上にきました。

あとは雲の流れのようにゆっくりと静かに暮らしていきたいと思っています。

今の楽しみは、写経と刺し子です。失敗しないように確認しながら、気持ちを含めて楽しんでおります。

ご本人より直筆にて近況をいただきました。



佐々木又次郎さん
(紫波地区)

大正15年6月5日生
昭和62年3月
上平沢小学校退職

いつの間にか100歳に迎えられた思いです。戦前・中・後、嬉しかったことや苦しかったことが走馬灯のように駆け巡ります。

戦中の出来事を思い返すと、日々日本の必勝と平和を願い、軍人として力を尽くしていたことが思い出されます。

今日まで元気に生きてこれたことに感謝するばかりです。

ご本人より100歳の思いを直筆にていただきました。



高橋トミ子さん
(江刺地区)

大正15年7月6日生
昭和55年3月
遠野・土淵小学校退職

現在は奥州市内の施設にお世話になっております。スタッフの方々のおかげで、元気に生活しています。

7月には百歳のお祝いの会を開いていただき、毎日読んでいる地元の新聞社からの取材を受けて、良い記念になりました。

遠方の孫やひ孫とのLINE面会も楽しみになっています。

ご家族の方から近況をいただきました。



小原 順さん
(和賀地区)

大正15年8月10日生
昭和59年3月
飯豊小学校退職

退職後は水墨画や庭仕事、畑仕事、手芸などを楽しみました。

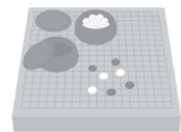
現在は立ち歩きが難しくなり、ベットで過ごす時間が多くなりましたが、週3回デイサービスに通い、レクリエーションや体操に取り組んでいます。家では童謡や唱歌を歌ったり、ヘルパーさんや訪問看護師さんとの会話を楽しんだり、発音体操で口を動かして声を出し、朗らかに過ごしています。

ご家族の方から近況をいただきました。

全国教職員囲碁大会岩手県大会

今年度で終了予定の全国教職員囲碁大会（第44回・来年1月6日、東京・日本棋院会館にて開催）への出場権をかけた岩手県大会を、今年は10月29日(木)に岩手教育会館で開催します。岩手県大会の参加資格は、地区大会で選抜された方、又は地区会から推薦を受けた方となります。地区大会については、各地区事務局へお問い合わせください。

- 競技種目 = ・名人戦（5段～6段）
・段位戦（初段～4段）
・級位戦



陳情書のお願い

『全ての世代が健やかで心豊かに暮らせる社会保障制度の確立と教職員が教育に専念できる環境の整備を求める陳情』署名にご協力を！

「誰もが安心できる持続可能な社会保障制度の確立」は私たちの切なる願いです。まだご提出されていない方は、ぜひ署名にご協力くださいますようお願いいたします。郵送先は退教互事務局まで。（〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16）

あとがき

青森や熊本の地震、千葉の水害と自然災害が続いています。先日、外出先でゲリラ豪雨に遭いました。夜の見知らぬ土地ゆえ、車を止めて雨をやり過ごしましたが、非常時こそ心に余裕を持って行動したいと感じた出来事でした。⑬